

昭和女子大学生考案レシピが完成

三浦半島産野菜の消費拡大目指す

昭和女子大学の学生が考案したダイコン・キャベツを使ったメニューが1月20日から26日までの期間、玉川高島屋S・C内のフーズシティ4店舗で限定販売された。

三浦市農協、JAよこすか葉山、全農かながわと同大学が取り組む産学連携プロジェクトの一環で、栄養士や管理栄養士を目指す学生が野菜や農業の知識を深めながらレシピを考案し、三浦半島産野菜の消費拡大につなげようというもの。同プロジェクトは4年目を迎え、産地JAはメニュー開発にあたり、出前授業や試食会の支援などを行った。

今回は学生23人が考案した51作の多彩なレシピの中から、総菜などを手掛ける玉川高島屋S・C内フーズシティ4店舗が6作を採用し、改良を加えて販売した。昨年12月9日に開催された玉川高島屋S・Cによるメニュー披露会では、プロならではのアレンジが加わったメニューに学生たちは目を輝かせ、シェフの説明を熱心に聞いていた。「イタリアンには珍しいサバを使ったメニューは斬新で、お客さまの関心を引く」とイタリア料理「アントニオ」が採用理由を説明し、学生は「採用基準がプロならではの視点で、将来に役立つ実践的な学びが得られた」と感心した様子だった。



レシピを考案した同大学生

同大学の佐川敦子専任講師は「コロナ禍でもくじけず地道に試作を重ねてきた。学校の調理室が使えず自宅で作る時間が多かったからか、今まで以上に考える時間も増えたのではないかと話す。

同大学ホームページ (<https://univ.swu.ac.jp/topics/2020/12/25/41165/>) では、今回の51作の中から自宅でも挑戦しやすいメニューとレシピを2作公開している。全農かながわは「既存のイメージにとらわれないさまざまなアイデアが生まれた。外出を自粛し自宅で料理をする家庭が増える中、新しいレシピの提案で野菜の消費拡大につなげたい」と話す。

■妻家房



キャベツ入り石焼き豚ブルコギビビンバ

■ハマダヤ



山椒香るキャベツのごま風味肉味噌パン

■アントニオ



サバとキャベツのトマトクリームパスタ



柚子香る水キムチ



生ハムとなますの和風バゲットサンド

■東方紅



食感たのしいキャベツの彩り炒め

ラジオ番組で「おだわら・あしがらのキウイ」を紹介

JAタウンで販売中

JA全農が提供するラジオ番組「あぐりずむ〜ニッポンいただきます紀行〜」で2月28日、「おだわら・あしがらのキウイ」の名称でかながわブランドに登録されているJAかながわ西湘のキウイフルーツが紹介された。同番組では、JA全農が運営する産直通販「JAタウン」掲載商品をピックアップし、パーソナリティー川瀬良子さんが生産者に取材し、全国各地で人気の農畜産物を紹介している。

今回の放送では、同JAの石井公裕さんがゲスト出演し、管内産キウイフルーツの魅力やおすすめの食べ方を紹介。コロナ禍で首都圏の取引先からの需要が減るなど厳しい販売状況にある中、たくさんの消費者に食べてもらい、産地を応援してほしいと話した。

同商品は、松田町、南足柄市のふるさと納税やJAタウンを通じて購入できる。



キウイを紹介する川瀬さん

番組ホームページはこちら

<https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/index.php?catid=3845&itemid=166180#report>



JAタウン商品ページはこちら

<https://www.ja-town.com/shop/g/g3601-10/>



国産農畜産物応援プロジェクト

賃貸契約でプレゼントが当たる!

(株) ジェイエーアメニティーハウスは、新型コロナウイルス感染拡大で外食や業務用需要が低迷している中、JAグループの一員として「国産農畜産物応援プロジェクト」と銘打ち、国産農畜産物を食べて応援するプレゼントキャンペーンを実施する。

1月1日から3月20日までに、JAグループ神奈川の賃貸仲介窓口で同社管理物件を契約すると、抽選で10人に県産銘柄豚「やまゆりポーク」と「BRUNOホットプレート」がセットでプレゼントされる。

応募方法の詳細は、JAホームネット特設ページまたはQRコードでご確認ください。



おうちdeグルメセットプレゼントキャンペーン



キャンペーンチラシ